

令和六年度島根県公立学校教員採用候補者選考試験問題

書道実技

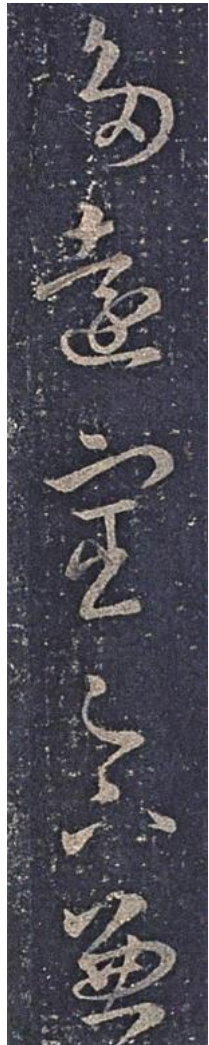
1 / 1 枚中

第一問題 次のⅠ、Ⅱの古典をそれぞれ半紙に臨書せよ。

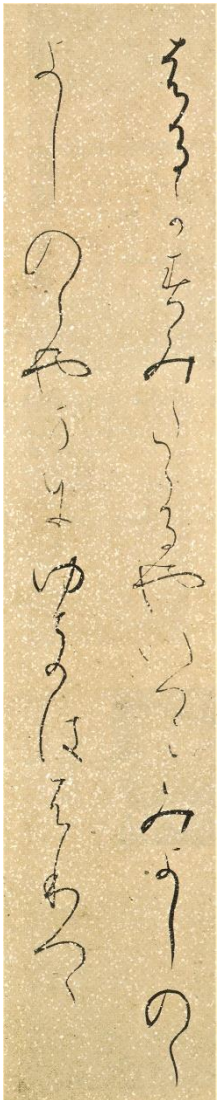
〈注意点〉○受験番号は作品の左下に算用数字で体裁よく記入せよ。

○半紙は縦置きとする。

Ⅰ「十七帖」



Ⅱ「高野切第一種」



第二問題 次のⅠ、Ⅱをそれぞれ半切に創作せよ。

〈注意点〉○落款は「平祥（へいしょう）」と書き、受験番号は第一問題に準じて記入せよ。

○半切は縦、横自由とする。

○書体は自由とする。

○Ⅱに「こい、

①漢字と仮名の置き換えをしてもよい。

②句読点はなくてもよい。

③落款の前に「雲太の言葉（雲太のことは・雲太の言も可）」を体裁よく入れること。

Ⅰ 中懐好逐孤雲去外物相逢满月迎（菅原道真『不出門』より）

Ⅱ 八百万（やおよろず）の神々、出雲に集ふ。

これ神在月なり。（雲太）